

教育相談
072-924-3892

情報推進
072-992-3910

研究・研修
072-924-0583

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>
(「教育委員会」のページよりご覧ください)

八尾の小さな巨匠展

日時：平成27年1月28日(水)～1月30日(金)
場所：八尾市文化会館「プリズムホール」 3階 展示室

「八尾の小さな巨匠展」は、子どもたちの学習の成果を認め合い、作品展示を通して交流を深めるとともに、障がい児(者)教育に対する理解・啓発、そして共に生きる社会の実現の一助となることをめざし、八尾市教育研究会主催により毎年行われているものです。

会場には、八尾市内の小・中学校支援学級ならびに八尾市立特別支援学校、大阪府立八尾支援学校、大阪府立藤井寺支援学校の児童・生徒の作品を一堂に展示しました。

初日のオープニングセレモニーでは、八尾市立南山本小学校の児童と、八尾市立特別支援学校の生徒が児童・生徒代表あいさつをしました。また、南山本小学校の児童と特別支援学校の児童と生徒がテープカットも行いました。あいさつも、テープカットも来賓の方々の前で堂々で行いました。



飾られた作品には、個人の作品や学校内の合同作品、また中学校区内の小学校と中学校の合同作品もありました。どれも子どもたちの個性と創造性に溢れ、とても素晴らしく、思わず見とれてしまいました。子どもたちだけでなく保護者や市民の方も、展示された作品を熱心に興味深く参観されていました。

来賓の市長や市議会議員の方々をはじめとして、皆様のあたたかいご支援により、3日間で1000人を超える方々にご参観をいただき、盛会のうちに作品展を終えることができました。

八尾市小学校音楽会

日時：平成27年2月7日(土) 10:00～16:30
場所：八尾市文化会館「プリズムホール」大ホール



本年度も市内全小学校の児童が音楽の練習の成果を発揮する八尾市小学校音楽会が八尾市教育研究会主催により行われました。

今年は2年ぶりに「プリズムホール」で開催され、3部構成で出演者、観客を入れ替えて行われました。

残念なことに一校、インフルエンザによる学級閉鎖の影響で出場が叶いませんでしたが、披露された演奏や歌は、どれも子どもたちの気持ちが込められていて素晴らしく、胸を打つものばかりでした。

子どもたちには大ホールの舞台上に立った思い出を大切に、これからも音楽を楽しんでもらいたいです。

「遊びを通しての子育て学習会」

日 時 平成27年1月24日（土）14：00～16：00
場 所 八尾市立教育サポートセンター プレイルーム

八尾市の就園・就学相談の一つとして保護者とお子さんが、「遊び」を通して子どもの成長・発達について共に考える場として「遊びを通しての子育て学習会」を実施しています。全3回シリーズで、それぞれに「遊び」のテーマを設定し、いろいろな活動場面から子どもへのかかわり方について考えます。第3回目の今回は、「からだを使って遊ぼう！」をテーマに実施しました。

体を動かすことによって体の使い方やバランス感覚を養い、また親と子どもとが触れ合うなかで感覚刺激を確かめながら遊べるといった効果が期待できます。

まず初めにプレイルームで大型遊具を使った遊びをしました。滑り台や平均台を使ったり、高い跳び箱からジャンプしたりとルールや順番を守り、楽しみながら活動できました。最初は恐る恐る遊んでいた遊具でも、何度も繰り返していくにつれ、子どもたち自身に余裕が出てきて、表情からも自信が芽生えてきているのが見受けられました。

次に曲に合わせて踊るリズム体操やフラフープを用いてボールを親子で運ぶ親子遊びをしました。フラフープを引っ張る力や歩く速度を考えながらボールを運んでいました。

絵本の読み聞かせの後に、パラバルーンをしました。今回のパラバルーンもドームを作ったり曲に合わせてパラバルーンを動かしたり楽しく活動できました。これらの遊びでは、みんなが力を合わせてひとつのことができる楽しさや、協力することのすばらしさを味わうことができました。子どもたちはもちろん保護者も楽しみながら運動していました。

今後も八尾市立教育サポートセンターでは、このような様々な活動を通じて子どもとのかかわり方等について保護者と一緒に考えていきます。

授業力向上研修 図工・美術講座

日 時 平成27年2月5日（木）15：30～17：00
場 所 八尾市立教育サポートセンター 講座室
講 師 元八尾市立竹湊小学校長 岡田 則義 さん

本研修では、『授業で活用できる水彩画の技法～動機づけの大切さ～』と題して、水彩画を指導するうえでの、基本的な技法について学ぶとともに、子ども達が「描きたい」と思えるように、興味・関心・意欲を高める指導・助言の仕方について、丁寧にご指導いただきました。

基本的な技法については、明るい色から暗い色、淡い色から濃い色で着彩することや、ぼかしの技法によって遠近感を出す方法などを、実際に受講者が着彩する中指導していただきました。

受講者の感想には、「実際に自分で体験すると、難しい所やこんな風に説明されると分かりやすいという点が良く分かりました。今日でより一層、絵を描くことが好きになりました。子どもたちにもこの楽しさを伝えていきたいと思います。」「木は茶色ではない、土は黄色に近い色など、本物の色を学ぶことは、とても良い経験だと思いました。」「にじみ、ぼかしの技法の説明を聞いて、改めて『そう説明すればわかりやすいのか！』と思いました。」などがありました。

